

平成30年度

学校自己評価報告書

平成31年 3月19日

学校法人 東洋学園

宮崎医療管理専門学校

自己点検・評価委員会

はじめに・・・評価基準、方法、根拠等について

本校では、学則第4条及び自己点検・評価規程及びPDCAサイクルをふまえ、学校評価を実施している。今年度の中間評価報告書（9月27日）をふまえ、学則等の基準、今年度の学校及び各学科、係の方針、運営計画等にもとづいた教育活動や学校運営に対し、今年度の取組について総合的に評価した。

根拠として、年度初めに提示した要項に基づき実施した各評価（各部署、授業、人事考課）資料、本校研修規程に拠る研究授業及び教職員研修会関連資料、定例の各会議（科内会議、科長会議、職員会議、運営委員会等）の議事録、日誌、各報告書、復命書等がある。なお、評価段階については5段階としている。

評価結果にある改善策及び3月25日開催の学校関係者評価委員会と教育課程編成委員会等をふまえ、次年度の改善及び学校運営にあたっていきたい。

評価項目を以下の10項目として、また、評価段階を各種評価と同様の5段階（5：大変良い 4：良い 3：ふつう 2：あまり良くない 1：良くない）としている。

1 教育理念・教育目標

	評価項目	評価
①	教育理念・目標が設定されている	5
②	人材育成像・指導方針が設定されている	5
③	①②を明文化している	5
④	①②について、周知徹底されている	4
⑤	①②について、実践し教育に現れている	4

[状況・課題]

- ・①②③について、学生便覧及び学校案内、募集要項、掲示板や教室に、建学の精神、求める学生像、教育方針等を掲載、掲示している。次年度以降も継続していく。
- ・④⑤に関連して、各科の目標にも挙げ努力し、全体的な取組として改善されている。さらに、継続及び習慣化による個別の改善に努めている。

[改善策]

- ・所属長等や教職員間の確認や助言、指導をふまえ、意識化、習慣化による個別、学科ごとの改善に努め、「良い学校」として認識される教育活動にあたっていきたい。

2 学校運営

	評価項目	評価
①	学校運営方針及び各種規定が明確に定められているか	4
②	学校運営の事業計画が定められ、計画に沿って運営されているか	4
③	学校の運営組織や意思決定機能は効率的なものであるか	4
④	人事や処遇に関する制度が適切に整備され、運用されているか	4
⑤	業務の効率化、経営の視点による取組が行われているか	4

[状況・課題]

- ・就業規則に抛り、また学則や内規等を明示し学校運営に当たってきた。
- ・中間の改善事項をふまえ、校務分掌ごとの取組が見られたが、実施の状況、確認や情報の共有等において偏りや不透明さが窺える。
- ・学生募集状況等から、さらに、厳しい学校運営が続くと思われる。
- ・保育科から「こども科」への改編手続を終え、当該機関より承認を得た。

[改善策]

- ・校務分掌のスリム化、効率化を図り、定例の会議の実施や報告等含め、上記2項の改善につなげる。
- ・運営組織を改編し、運営の適正化及び効率化を図る。

3 教育活動

	評価項目	評価
①	カリキュラムは体系的かつ適正に編成されているか	5
②	人材ニーズ等に合わせ、カリキュラムの見直しが行われているか	4
③	成績評価・単位認定の基準は明確に設けられているか	5
④	授業計画が明文化され、それにもとづく教育を実施しているか	4
⑤	授業評価の実施、評価体制が整っているか	4
⑥	教員の資質、指導能力向上に対する方策を採っているか	4
⑦	資格取得の指導体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・「2 学校運営」もふまえ、各科カリキュラムの見直しを行った。
- ・授業評価アンケートの実施方法を変更したが、精度や学生の意識、取組等、再度の改善を要する。
- ・教員個人レベルで研修の機会を設け、資質、能力向上に努めた。
- ・医療情報管理科の資格取得について、補講等の手立てをとったが、教員の力量不足等により、十分な成果が出ていない。
- ・介護福祉士国家試験について、指導対策を改善し効果的に行った。次年度も、グルー

ブ指導、個別指導を強化し、全員合格を目標に取り組んでいきたい。

[改善策]

- ・学生数（少ない）に応じた授業評価の内容や方法について、学生のコメント等を重視した改善内容について検討する。 <継続>
- ・就業規則及び研修規程に基づき、研修を奨励していく。 <継続>
- ・医療情報管理科の資格取得について、計画的かつ適切な指導体制の構築のもと、個別指導の強化を図り、実施する。

4 学修成果

	評価項目	評価
①	就職率の向上が図られているか	5
②	資格取得率の向上が図られているか	4
③	退学率の低減が図られているか	4
④	卒業生の社会的な活動状況や評価を把握しているか	4

[状況・課題]

- ・資格（学校案内記載）によっては、取得のための手立てが不十分である。 ※同じ
- ・個別指導や保護者の協力も得ながら、退学の低減に努めた。
- ・各科、改編において、それぞれの特色を確認、考慮し、取得資格を整理した。

[改善策]

- ・各学科、早い段階から学生個々の状況の把握に努め、情報を共有し、学習継続に係る意識づけを的確に行う。併せて、校務分掌の機能を効果的に活用する。
- ・卒業生について、今後とも、計画的な就職先や実習先の訪問、各種広報活動の中で、状況や評価の把握に努めたい。

5 学生支援

	評価項目	評価
①	進路指導に関する体制が整備され、機能しているか	5
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	4
③	学生の経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	5
④	保護者と適切に連携しているか	5
⑤	卒業生への支援体制はあるか	4

[状況・課題]

- ・進路指導について、個別の丁寧な対応を行い、(ほぼ)全員の進路が決定した。
- ・学生相談について、校務分掌としての体制の見直しが必要である。

[改善策]

- ・ 学生相談の体制について、担当部署は設けず、学科ごとの対応を基本とする。
- ・ 卒業生支援について、学科ごとの対応及び同窓会の活用を促す。
- ※ 4④とも関連づける。

6 教育環境

	評価項目	評価
①	施設・設備は、教育上、充分に対応できるよう整備されているか	4
②	実習やインターンシップについて、十分な教育体制が整っているか	5
③	防災に対する体制は整備されているか	4

[状況・課題]

- ・ 施設や設備の一部について、老朽化に伴う修繕等に努めた。
- ・ 校舎周辺の美化管理に努めた。
- ・ 防災に対する体制を見直し、避難訓練も実施方法を見直し充実を図った。

[改善策]

- ・ 経費や優先順位を考慮し、施設や設備の修繕・補修を、予算措置も含め計画的に行い、教育機器の充実を図っていく。 <継続>
- ・ 環境整備について、校務分掌の変更、重点化により、日々の業務として実施する。
- ・ 地震災害を想定した訓練を含め、内容を充実させる。 <継続>

7 学生の受け入れ募集

	評価項目	評価
①	学生募集活動は、適正に行われているか	4
②	教育成果の情報提供は、適正に行われているか	4
③	入学選考は、適正かつ公平な基準により行われているか	4
④	学納金は、妥当なものとなっているか	5

[状況・課題]

- ・ 募集活動について、計画的に新規事業も含め取り組んだが、結果に繋がっていない。
- ・ 情報公開（更新）も意識し、教育成果等に係る情報提供に心がけている。

[改善策]

- ・ 次年度に向け、募集活動方針を明確にし、募集活動計画及び方法等の詳細を提示、確認し、確実に実施していく。

8 財務

	評価項目	評価
①	学校の財務基盤は安定していると言えるか	3
②	予算、収支計画は、有効かつ妥当なものとなっているか	4
③	財務について、会計監査が適正に行われているか	4
④	財務情報公開の体制整備はできているか	4

[状況・課題]

- ・学生確保について、年度始めの目標を大幅に下回っており、財務基盤上、さらに厳しい状況となる見込みである。
- ・収益事業（介護関連研修等）を導入しているが、受講者の確保に苦慮している。

[改善策]

- ・学生募集に係る体制や方法等を見直し、さらに全学的な取組とし優先的に実施する。
- ・研修事業について回数増や広報の充実を図り、収益増に繋げる。
- ・2⑤にも関連し、節約に係る個々の取組を継続し、経費節減に努める。

9 法令等の遵守

	評価項目	評価
①	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	5
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
③	自己点検・評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
④	自己点検・評価の結果を公表しているか	5

[状況・課題]

- ・普段より法令遵守に努め、適正に学校運営にあたっている。 ※同じ
- ・個人情報について、特に管理上の取扱いに配慮している。 ※同じ
- ・自己点検・評価について、前期評価をふまえ、各部署、個人で具体的改善が窺える。

[改善策]

- ・個人情報を含む、諸表簿の整理、処分を含めた管理体制を維持する。 <継続>
- ・改善に対する意識づけについて、所属リーダーや個人に対し、管理職が随時の確認や指示を積極的に行う。

10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価
①	学校の教育資源を有効活用した社会貢献を行っているか	5

②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
③	地域や関係団体との連携や交流を通して、地域活動に参加しているか	4

[状況・課題]

- ・本校及び他団体の特別講演、講座を複数開催し、多くの参加があった。
- ・依頼による施設、設備の貸出があったが、積極的、計画的な取組において課題がある。
- ・ボランティアの参加状況に個人差があり、意欲的な参加に係る手立てを講じる必要がある。また、学校周辺地域との交流は、活発とまではしていない。

[改善策]

- ・学校開放（グラウンド、設備等）、利用に関連し、本校のPRも兼ねて告知すること等について、継続して検討し、実施に繋げる。
- ・ボランティアや地域貢献について、積極的な参加や継続性を意識し実施する。

以 上